

## 宇宙基本計画の工程表改訂に向けて（案）

平成 29 年 3 月 10 日  
内閣府宇宙開発  
戦略推進事務局

## 1. 趣旨

平成 29 年末までに行われる宇宙基本計画の工程表改訂に際し、内容を充実したものとしていく観点から、宇宙政策委員会として重点的に検討すべき事項を洗い出し、これを踏まえつつ、年央を目途に中間的な取りまとめを行う。

関係府省は、本中間取りまとめを踏まえ、概算要求に必要な施策を盛り込み、年末の工程表改訂への反映を目指す。

## 2. 重点的に検討すべき事項の例

- (1) 新たな民間宇宙ビジネスの創出・拡大
  - ✓ 準天頂衛星システムの 4 機体制構築とその利活用促進
  - ✓ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた実証
  - ✓ 国際競争力を有する宇宙機器・部品の開発・評価や宇宙実証
  - ✓ 衛星データの利活用に資する基盤の整備
  - ✓ 宇宙 2 法の施行を踏まえた新規参入促進策・基盤整備等
  - ✓ H3 ロケットの着実な開発
- (2) 宇宙システムの強靱化
  - ✓ 宇宙システムの機能保証（Mission Assurance）強化
  - ✓ 宇宙デブリ総合対策（国際ルールやガイドライン作り／国内基準整備／除去・低減、観測及びモデル化に関する研究開発）
- (3) 宇宙システムの海外展開・諸外国との協力関係構築
  - ✓ 官民の新たな体制の枠組み等の検討を含む国際協力の推進
  - ✓ 国際協力等を通じた地球規模課題解決への宇宙技術の貢献
- (4) その他

（以上）